

下高井戸おおぞら公園開園

4月8日午前10時、旧東京電力総合グランド跡地や既存の区立下高井戸公園の敷地を整備した下高井戸おおぞら公園の開園式が行なわれました。敷地東側部分は、今後、東京都が地下調節池を整備した後、多目的スポーツコート、ジョギングコースなどの整備を予定していて公園全体が完成すると、敷地面積約4.8haの区立公園となります。

下高井戸おおぞら公園の敷地の大部分は、旧東京電力総合グランドです。このグランドは、東京電力が東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故に伴う被害者への損害賠償費用などに充てる資産売却の際に、杉並区が約60億円で用地を取得しました。そして、平成27年度から、豊かなみどりと災害時の防災拠点としての機能を備えた公園として整備を行ってきました。

下高井戸おおぞら公園の整備計画は、公募区民によるワークショップを開催するなど、公園の機能や使い勝手に、多くの住民の声が反映されています。いざという時の防災機能としては、防災交流テラスやヘリポート、そして豊富なみどりを活用した幅10～15mの防火樹林帯を配置しています。また、遊具のある子ども遊びエリアや健康遊具を設けたエリア、ピクニックやのんびり読書を楽しめる「憩いのはらっぱ」もあります。さらに、今後はラグビーやサッカーができる多目的スポーツコートやジョギングコースも整備する予定です。



4月8日午前10時、西側の約3haの第一期整備工事部分を開園。近隣住民などが参加し、開園式を開催し公園の開園を祝いました。また、新たに備わった防災機能を紹介するイベントも催され、来場者は消火訓練や起震車体験、マンホールトイレの見学に参加しました。本日は、青空は見えませんでしたでしたが、空をさえぎるものがない、まさに「おおぞら」の名にふさわしい公園を楽しんでいました。

【問い合わせ先】

都市整備部みどり公園課 3312-2111 内線3571

案内図



平成29年度入口の追加新設整備

平成29年度4月開園区域(第一期)

下高井戸おおぞら公園

[杉並区下高井戸二丁目28番23号]

下高井戸二丁目

「この背景の地形図は、東京都都市整備局と東京デジタルマップ(株)が著作権を有しています。(承認番号:17東デ共許第004号-27)」
 「この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)22都市基交第371号」